



国民春闘共闘

第7号

2015年3月9日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

労働者の生活悪化をかえりみない 低額回答に抗議

JMIUで回答引出し

60 を越える支部分会がストライキ決起

JMIU（全日本金属情報機器労働組合）では、産別回答指定日の3月4日に全国74支部・分会で有額回答を引き出しました。賃金引上げ回答の単純平均（支部・分会平均）は5,511円（2.03%）、加重平均（組合員平均）は5,855円（2.02%）となっています。前年同期と比較して、単純平均で88円増（+0.03ポイント）、加重平均で481円増（+0.07ポイント）とわずかに上回っています。

42支部分会で、昨年同時期の回答と同等以上の回答を引き出し、5桁の回答を引き出した支部分会もあるなど14春闘の流れを引き継ぎ奮闘しています。特に、東京東部、京滋、大阪など地本・地協の産別統一闘争が前進しているところでは、生活悪化の実態を前面に出し、経営者に真剣に労働者の暮らしを考えさせて、一定水準回答を引き出しています。一方で、ゼロ回答や回答延期、超低額回答が示された支部分会も出ています。

JMIUは回答内容について「初回回答は労働者の生活改善や景気回復には、ほど遠いもので、特に消費税増税による生活悪化の改善にはまったく足りない。経営の都合だけを押しつけられたもので、私たちの期待と『大幅賃上げ』の世論を、大きく裏切るものだ」、「私たちの要求（組合員平均27,530円）には程遠い。全体として、労働者の生活悪化の現実をかえりみない不当な低額回答である」と指摘。

回答指定日翌日には、低額回答や回答延期に抗議し、全国で60を超える支部分会がストライキに総決起し、各地で終日の統一行動を展開しました。東京では55支部分会、1,100人がストライキや職場集會に決起し、大阪では33人の交渉団が3コースに分かれリレーストで回答促進行動に打って出しています。京滋では8職場を2コースに分かれリレーし、夕方にカシフジ支部で決起集會を行い、長野、神奈川でもリレーストで支部分会を激励しています。兵庫・甲南電機では工場組合員のワッペン就労、工場門前に組合旗掲揚で要求の強さを示し、千葉・栄製作所や三和機材、各地に支部分会がある文化シャッターやNCRでも時限ストに入り、回答延期や低額回答への抗議が行われました。

JMIUでは3月9日に「15春闘達示No4」を発表し、「生活悪化をかえりみない低額回答を許さず、要求の正当性を確信に、生活実態の事実をつきつけ、大幅上積みを求めよう！統一闘争と全員参加の取り組みで、経営者の責任を迫ろう！あきらめず、安易に妥結せずに粘り強くたたかいぬこう！」と呼びかけています。

まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定